

自昭和五年一月  
至昭和五年十二月

# 道路の改良

第十二卷

# 道路の改良第十二卷總目錄

(自昭和五年十二月  
至昭和五年十二月)

口 繪

竣功したる神宮橋(茨城縣)  
村山橋(山形縣)

舗装された沼津市街路

簡易舗装施工中の埼玉縣蕨町

完成せる京橋(和歌山市)

竣工せる牛淵橋と寒狹橋(愛知縣)

道路功勞表彰表彰状

復興帝都の新道路

福岡縣筑後川上流の昭和橋

淀川と木津川に架する御幸橋(京都府)

銀山橋(山形縣)

完成した柳瀬橋(群馬縣)

竣功せる大利根橋の大觀

富士川に架けた月見橋(山梨縣)

號數

一 〇 九 八 七 六 五 四 四 三 二 二 一

完成された土釜橋、出合橋（徳島縣）  
 竣成した枚方大橋（大阪府）

卷 頭 言

論 說

- 我が路政の回顧
- 道路の改良に就て
- 道路改良問題の歸趣
- 道路を愛護せよ
- 道路運送の職能と道路法制
- 本邦の道路に就て
- 惠まれざる東北の道路
- 道路運送の既往と將來

中野金次郎	丹羽七郎	田邊朔郎	増井幸雄	山縣治郎	桐島像一	三邊長治	水野鍊太郎
-------	------	------	------	------	------	------	-------

—	—	—	—	—	—	—	—
四四	四一	三九	二五	二一	一五	九	三
							頁數

二一〇九八七六五四三一

道路改良と住宅改善

我國道路の既往と將來を眺めて

經濟上より見たる道路

吾輩をして道路改良の衝に在らしめば

帝都復興の完成と道路

道路改良管見

自動車鐵道協力の必要

道路改良上の要件二つ

簡易舗装に就て

道路の改良は目下最先の急務

道路施設の緩急

緊縮政策と失業救済とは兩立するか

自動車道路開設の機運

道路港灣其の他の擴築費に就て

道路より道徳へ

ローマの道路改良精神を學べ

木村憲七郎 一四九

佐上信一 一五九

松木幹一郎 二二

藤原俊雄 三三

中川望 四三

野村兼太郎 五三

長谷川久一 七三

増井幸雄 七八

橋本圭三郎 八三

瀧本誠一 九三

菊池慎三 九七

長岡隆一郎 一〇三

藤原俊雄 一〇〇

田川大吉郎 一一三

永井亨 一二三

長谷川久一 一二九

徳川時代の交通落穂考

今後の交通問題

共同管溝の法的考察

拱軸線の決定法

舗装用石油アスファルトの伸張度に關する規格を改正すべし

街路形状に關する新考察

道路の美化問題

立案者の見たる橋梁細則案

交通頻繁なる街路に就て

道路法中改正私論

ポルトランド・セメントの規格竝に試験法に就ての考察

武井君の道路法中改正私論を讀む

混凝土工事界の近況と淺野ペロ・セメントに就て

平松弘	一七六
笠松慎太郎	一八二
田中好	一八六
三浦七郎	一九五
近新三郎	二〇六
藤井眞透	二〇九
佐藤利恭	二二〇
物部長穂	二二七
井口眞造	二三七
武井群嗣	二三八
三木榮三	二二九
田中好	二三三
宮本武之輔	二四四

六五四三二

二二九  
一一一  
一一一  
一一一  
二五七

道路費用負擔者に關する大審院判決を評す

木橋の經濟的徑間に就て

徳川幕府の道路交通政策に就て

歐米諸國の道路改良

都市交通問題

路政の研究

徳川時代の運賃

大阪市交通機關の獨占市營

物資の配給と道路

並木に就て

弘前藩の路政

技 術

ター塗装示方書(Sufa 選定)

山	和	池	和	岡	和	田	平	武	和	福	田
田	田	本	田	崎	田	中	山	井	田	田	中
	篤	泰	篤	早	篤	好	泰	群	篤		好
元	憲	兒	憲	太	憲	治	治	嗣	憲	弘	好
五	二	一	一	一	〇	八	七	六	六	五	五
七	三	一	一	〇	〇	二	〇	九	八	七	五
四	一	七	〇	七	三	三	五	三	二	二	九
一	六	七	〇	七	三	三	五	三	二	二	九

ポルトランド・セメントの規格竝に試験方法に就ての考察

路面凹凸係数の改良を必要とする限度

アスファルト・コンクリートの最大密度に就て

混泥土の表面仕上に就て

鋼橋の發達

中路結構橋垂直材の設計に就て

軟弱なる基礎地盤

製鐵所式ターバラス鋪裝

設計資料

時 論

失業救済の爲に道路を改良せよ

道路改良による失業救済並地方産業の開發

六

三 木 榮 三

藤 井 眞 透

山 本 廣 一

宮 本 武 之 輔

青 木 楠 男

小 澤 久 太 郎

井 口 眞 造

谷 宗 雄

道 路 改 良 會 技 術 部

道 路 改 良 會 技 術 部

二〇九八七  
一五〇五八六  
九六八〇五

二二 八二

一一 四三

一〇 九〇

二九 四四  
九四

二〇九 三三  
三五 三九

八 六八

七 六一

二〇八七 六八  
四〇五〇

一 記 者 六 三

山 崎 龜 吉 一〇 二二  
三

談叢

道路問題に就て

地方開發と道路政策に就て

國家の繁榮と道路の改良

道路改良の好財源

視察

米國交通界の近況に就て

史料

王朝時代の道路法

徳川時代に於ける北海道の開拓と道路

街道の關所が廢せられるまで

神戸に於ける交通の變遷

明治時代の道路制度

上州の道路

五十年前の天爵大神水谷忠厚  
道路改良家

林博太郎 三三二

小山谷藏 七七五

中野金次郎 九六八

岡崎久次郎 一六八

中川正左 二三五

瀧川政次郎 一四五

和田篤憲 一七七

長谷川久一 一九三

奥中喜代一 一九八

田中好一 二〇五

堀田鼎 二四一

山田英太郎 三四〇



「土佐日記」「十六夜日記」及「奥の細道」にあらはれたる交通情況  
 新興佛教の布教と交通の進歩

資料

土木行政の維新たる道路法の成績  
 自動車交通網に就て

都市交通問題

混凝土及鐵筋混凝土鋪裝

受益者負擔制度運用の實際

米國道路行政の展望

東海道自動車旅行記録

治 績

京都市の道路

道路法 東京府道路改良の概況  
 施行後

道路損傷負擔金に就て

長谷川久一	長谷川久一	松尾國松	清水良策	平山泰治	中末郁二	高澤義智	武井群嗣	三井高公	土岐嘉平	來島良亮	S. H. 生
三	三	一	一	六	五	二	三	五	一	一	一
四七	四七	二五五	二六五	四四七	五五八	七〇	五五四	五五五	二七八	二九二	二九九

道路法が實施せらるゝまで

道は正しく

道路の述懐

道路に關することを

三題「乞食」と「交通整理」と「保險」

熊野路の旅

異動した土木部課長評

栃木縣の三日間

道路改良の第一歩

北海道の道路管見

橋梁製作所巡り

廣島縣の道路

東北を一巡して

道路三態

漫 録

淺香小兵衛 一三〇三

大須賀巖 一三二四

川上國三郎 一三五

池本泰兒 八六一三五

藤岡長敏 七一三

田中好 七一七

丹羽浪人 八二八

佐藤生 九八五

榊井照藏 九八九

枝川生 〇九四七

池本泰兒 〇一三六

淺香生 一一九一

徳田茂 一一〇一

吉田一郎 二二二

文 苑

懸賞論文

道路問題の統一的考察

道路交通と農村振興

道路の過去現在及將來

道路改良と農村振興策に就て

我國に於ける道路改良の捷徑

海外道路時事

紹介

既橋改築工事概要

丹羽七郎

一〇七五

二四四  
二五六

田中孝

一

三三〇

高田正一

一

三四六

岡崎早太郎

一

三五四

小川了吉

一

三六八

興梠博英

一

三七四

物部長穂

一一〇九八七六五四三二一

四  
九七一九八四六九七〇  
三四五七〇一一八九七九二

遠藤正巳

二

八七

萬國工業會議第四部會(土木)の收護

萬國工業會議に於ける道路問題

東京復興街路の完成に際して

福岡縣に於ける縣營碎石事業

茨城縣に於ける橋梁工事概要

萬國道路會議に就て

道路愛護運動

最近に於ける山形縣の橋梁工事

大阪附近道路關係者懇談會其他

神明國道改築斷感

本州北部自動車旅行記

物故された本會の功勞者

本會錄事

山口昇 三〇七

道路改良會調查部 三三三  
六五四三

今井哲 四〇三  
六五四三

坂本一平 五〇三  
八七六五  
九〇七五  
八四二

岩崎雄治 五二二

江守保平 六二二

一記者 七〇九

池本泰兒 八〇三

長久保俊夫 八〇八

楠生 二〇八  
二二九

三井高公 二〇八  
二二九

田中好一 四一五

事業十年の概観

修路功勞者の表彰に就て

修路功勞者略歴

感想

山形縣の道路に就て

通信

米國管見

地方通信

法令

一二

小島 效

道路改良會 審査部

道路改良會 審査部

池本 泰兒

田藤 邊田 良周 忠造

一四二〇

三一三三

四一六

七九四

五三一〇八五

二〇五〇二〇四三二〇  
三七一三九一〇六六一

◎軌道法施行規則中改正……………四三一

◎大正十二年十二月二十九日軌道法第二十五條の規定に依る職權委任に關する内務鐵道省令中改正

◎軌道法中改正法律施行期日の件

◎國道新設の爲にする土地收用補償金請求訴訟の相手方に關する件……………五一四六

◎道路損傷金徵收規則……………六一九三

◎土地收用法第二十一條に依る調書作製に關する件……………七一三四

◎肥料會社が自家用の發電所を設置する場合土地收用法第二條の電氣裝置に該當するや◎土地收用法第二條の事業中電氣裝置とは電氣事業法に依るもののみなるや◎土地收用の際所有權者が故意に收用を妨害するの目的を以て次々所有權を移轉したる場合細目の公告不能になるや◎道路工事用物件購入又は勞力供給契約を爲したる場合之が假拂に關し道路工事執行令第二十條の制限を受くるものなりや◎道路工事執行令第六條の代理と同第十六條の委託との關係

◎軌道の建設に關する件……………八一五〇

◎道路工事執行令第二十四條の規定に基く假拂に關する件◎府縣道の附屬物たる不用木材無償交付

に關する件

一四

◎土地收用事務取扱に關する件

一一六

◎道路工事執行令中疑義に關する件

一一八

◎行政區劃の境界附近に於ける市町村の路線認定の件◎道路法第十八條第一項の意義◎道路法第五十二條と同法施行令第二十條との關係如何

彙報

◎山形縣村山橋竣功式

一四四二

◎理事會開會◎全國交通調查圖表刊行

◎藤岡幹事歸朝

一〇六

◎藤田東京府技師歸朝◎全國交通調查圖表配布

◎松木理事、來島部長送別

一五〇

◎幹事會開催◎通常會員の増加

◎調査部會の開會.....五 一五三

◎幹事會の開催◎通常會員の増加◎來島囑託外遊

◎地方長官會議に於ける路政問題.....六 一一一

◎岩澤幹事歸朝◎理事會の開催◎通常會員の増加

雜報

◎道路起債の許可.....七 一三八

◎道路損傷負擔金及受益者負擔金の決定◎牧博士の新事業「高等土木工學」の發刊◎土木試驗所報告  
と藤井技師の努力◎全國道路會議の開催◎理事の開催◎内田副會長海外視察◎通常會員の増加◎東  
京地下鐵道工事の進捗

◎東京の失業者を山梨縣で救濟.....八 一五三

◎自動車専用道路の認可二件◎第五回道路職員講習會の狀況◎萬國道路會議視察旅行

◎長野縣で不景氣救済の爲に道路改修.....九 一〇九

◎自動車専用道路の開通◎柳瀬橋開通式



◎宮城縣道路保護協會成る ..... 一〇 一五六

◎大根橋開通す◎藤井技師の渡米◎囑託西澤君の榮轉

◎幸橋渡橋式 ..... 一一 一一七

◎地下鐵道事務打合會開催◎八號國道改築工事起工式◎第二回全國都市問題會議開催◎自動車專用

道路の認可

◎岐阜縣下に於ける三大起工式 ..... 一二 一三〇

◎「シートアスファルト鋪裝標準示方書」の發行◎萬國道路會議の概況

附 錄

日本交通土木史年表

道路法年譜

昭和四年路政小史

修路工夫に關する統計

街路  
道路構造令の荷重に依り設計架設せられたる全國橋梁調

各國道路費一覽表

茂庭 忠次郎 ..... 一四四七

淺香 小兵衛 ..... 一四六五

道路改良會編輯部 ..... 一四七九

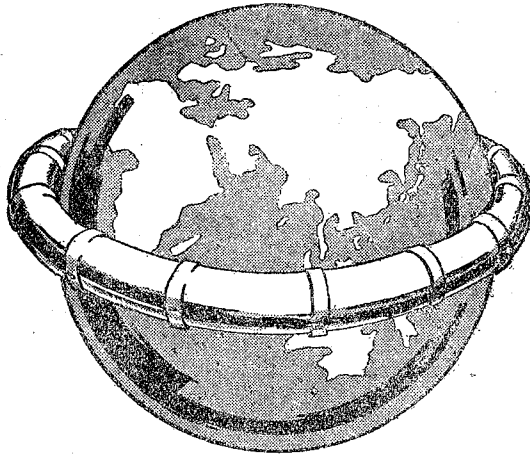
九 五 三

# ヒュームパイプ



用途

鑛山用途風管  
溫泉送湯管原油管  
水力電氣導水管  
噴筒吸管及送水管  
門柱及橋脚  
其他省略



用途

上下水道内壓管  
下水道外壓管  
電信電話導線  
鐵道用大暗渠  
送電線埋設管  
排水灌漑用管

## 日本ヒューム管株式會社

東京市京橋區銀座六丁目（賑橋際）

電話銀座 5426・5427・5428番

支店 大阪市西區土佐堀通二丁目 電話土佐 1453・1793

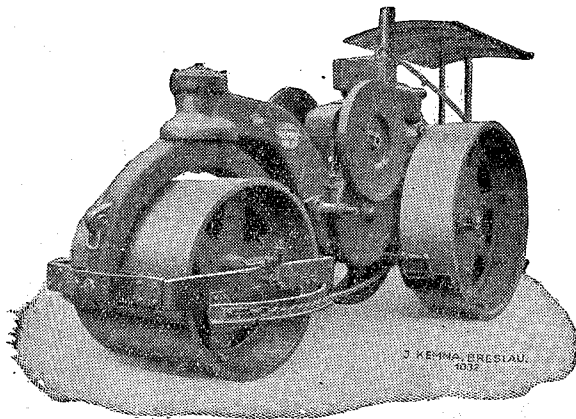
出張所 { 門司市 水尾 野瀬 スレート會社内 電話.....1222  
 古賀市 中津 南濱 野瀬 スレート會社内 電話中.....1097  
 横濱市 北三條 森田 野瀬 スレート會社内 電話.....538  
 横濱市 磯子 磯子 野瀬 スレート會社内 電話龍山.....1226

工場 { 横濱市 鶴見區 潮田 町二八八八 電話鶴見.....209  
 大阪市 西成區 津守 町三九八 電話澁川.....4460

樺太から臺灣までの実績を見よ

## ケムナ・デイゼル・ロードローラー

4乃至15噸各型



道路築造、改良費の緊縮は「ケムナ」デイゼルロードローラー御採用に限る

10.5~12噸 マカナム型 (在庫有り)

各種ロードローラー運轉燃料費比較(十噸マダム型)

	一日 (五時間運轉)	一月 (廿日運轉)	一年
ステイムロードローラー	7.50	150.00	1800.00
ガソリンロードローラー	6.80	136.00	1632.00
デイゼルロードローラー	1.35	27.00	324.00

製造會社 獨逸ジエー・ケムナ會社  
J, Kemna, Breslau.

(創立六十五有餘年前)

日本總代理店



株式會社 エル・レイボルド商館

東京日本橋區吳服橋三丁目東京建物ビル  
大阪西區江戸堀日本海上ビル

鋪裝用最新 アスファルト乳劑



# 鈴木乳劑生儿

特許 純國産

道路床 庭用

施 工	簡 易
費 用	低 廉
體 裁	優 美
觸 感	快 適



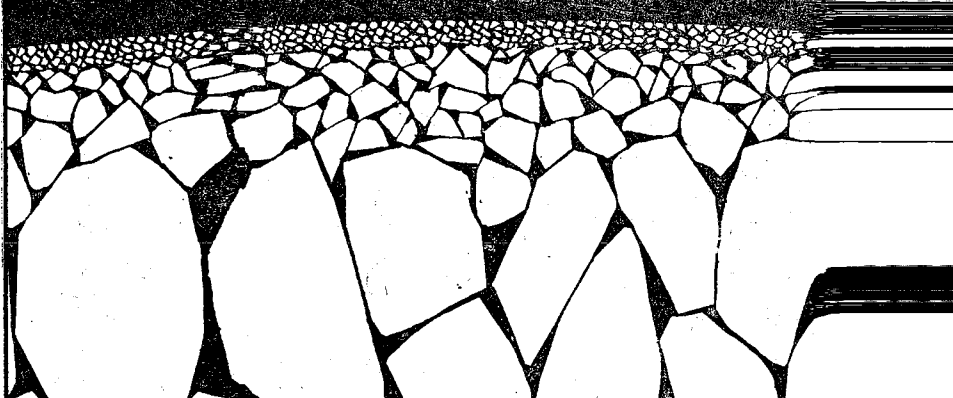
日本アスファルト乳劑株式會社

營業所 東京市麴町區丸ノ内海上ビル七階

電話 丸ノ内 { 七六〇  
四六三一

工場 神奈川縣大船在小坂村

電話 鎌倉 七三六番



昭和五年

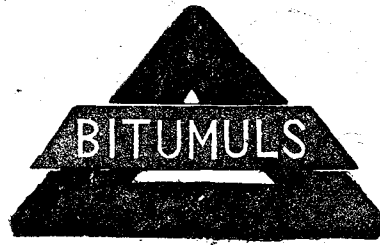
●用途

鋪裝用  
道路、橋梁、フラットフォーム  
倉庫、床面、校庭、テニスコート  
防水用  
屋上、地下室  
貯水池、トンネル

●特長

加熱不要  
經濟的高級鋪裝

特許國產瀝青乳劑



# ビチュマルス

横濱市中區堀内町新川五三六番地 電話本局2二四一五番

日本液体アスファルト 工業株式會社

關東代理店 日本ビチュマルス鋪裝工業株式會社

東京丸の内五號館

電話丸の内(23) 四四八二九番

關西代理店 ビチュマルス工業株式會社

大阪市北區堂島濱通一ノ一堂島ビル

電話北 四六三三〇番

説明書進呈